

# 「松原市地域医療の充実・向上」に向けた アンケート調査報告書

平成22年1月  
松原市保健福祉部地域保健課

# 目 次

## 1. 調査の概要

- (1) 調査目的 . . . . . P3
- (2) 調査対象者 . . . . . P3
- (3) 調査内容・項目 . . . . . P3
- (4) 調査期間 . . . . . P4
- (5) 調査方法 . . . . . P4
- (6) 回収率 . . . . . P4

## 2. 調査結果の要約 . . . . . P5

## 3. 集計結果

- (1) 項目集計結果 . . . . . 資料 1
- (2) 自由意見の集約 . . . . . 資料 2
- (3) 調査票 . . . . . 資料 3

## 1. 調査の概要

### (1) 調査目的

「医療崩壊」と言われる中、平成 21 年 3 月末で市立松原病院が閉院となった。地域医療の不安、後退を危惧する声もあったが、病院機能移管や広域連携を進める中で、小児の外来・休日急病診療、がん検診体制の確保、病床移管による救急医療の充実など、医療水準の確保が一定図られてきた。

さらに、「安心・安全のまちづくり」の一つである小児医療をはじめとした地域医療体制の一層の充実を図るため、平成 21 年 11 月 2 日には医療や福祉の専門家による「松原市これからの地域医療のあり方検討委員会」を立ち上げ、様々な分野・角度から地域医療の課題について検討が始められているところである。

そこで、今後具体的に市内の医療の充実・向上を図るため、広く市民の方々の実態や意見を把握し、検討委員会での基礎資料とすることとした。

### (2) 調査対象者

松原市民：20 歳以上の松原市民について、10 歳ごとの年齢階層別、及び「松原地区」「天美地区」「新町地区」「恵我地区」「三宅地区」ごとの地区別に無作為抽出した 500 人を対象とした。

### (3) 調査内容・項目

アンケート調査項目は、以下のとおり 20 項目となっている。

#### 【対象者について】

問 1	性別	○	
問 2	年齢	○	
問 3	居住地	○	
問 4	勤務・通学先	○	
問 5	同居者の年齢	○	
問 6	加入医療保険	○	自由記載
問 7	生活状況	○	
問 8	病気・疾病の有無	○	
問 9	医療機関・福祉施設等の利用状況	○	自由記載

【受診する医療機関について】

- |      |                   |   |      |
|------|-------------------|---|------|
| 問 10 | 決まった医療機関          | ○ | 自由記載 |
| 問 11 | 通院医療機関先           | ○ |      |
| 問 12 | 通院医療機関の選択         | ○ | 自由記載 |
| 問 13 | 入院・検査・手術時の医療機関の選択 | ○ | 自由記載 |

【医療提供、体制について】

- |      |             |   |      |
|------|-------------|---|------|
| 問 14 | がん検診の受診     | ○ | 自由記載 |
| 問 15 | その他検診の受診    | ○ | 自由記載 |
| 問 16 | 市内の医療提供     | ○ | 自由記載 |
| 問 17 | 市内の医療充実     | ○ | 自由記載 |
| 問 18 | 医療充実の体制整備   | ○ | 自由記載 |
| 問 19 | 困ったこと       | ○ | 自由記載 |
| 問 20 | 地域医療充実へ自由意見 | ○ | 自由記載 |

**(4) 調査期間**

- 調査票郵送 : 平成 21 年 11 月 30 日 (月)  
返送締め切り : 平成 21 年 12 月 15 日 (火)

**(5) 調査方法**

自記式アンケート調査。調査票を郵送配布し、調査対象者が郵便にて返送する。

**(6) 回収率**

配布数 500 枚 回収数 205 枚 回収率 41.0%

## 2. 調査結果の要約

本アンケート調査は、「1. 調査の概要」にも示したように、「市民」を対象として「地域医療」（市内の医療）についての意見を求めたものである。回収結果は、年末の繁忙期、短期間ということもあり、41.0%であった。

ここでの要約は、集約結果を中心としてまとめたものである。

### (1) 回答者像について

(問1、問2、問3、問4、問5、問6、問7、問8、問9)

回答者の性別では、「男性」よりも「女性」が多く、年齢階層別では「60歳以上」で約半数を占め、回答比率が高い傾向であった。

居住地別では、「松原地区」「天美地区」「新町地区」で約20%、最も少ない「恵我地区」で14.6%と地区別の大きな偏りはなかった。

通勤・通学先では、「松原市」24.4%と「通勤・通学はしていない」33.7%を合わせた「移動しない」が約6割になる。

同居者（複数回答）では、「0歳～9歳」の小さな子供がいる世帯が8.4%、逆に「70歳以上」の高齢者がいる世帯が倍以上の19.6%。単身世帯が5.1%であった。

医療保険の加入では、「国民健康保険」と「後期高齢者医療制度」で5割弱。次いで「協会けんぽ」が3割、「組合健保」で1割5分であった。

生活状況では、「ふつう」57.1%、「苦しい」40.0%で「余裕がある」と答えた人はわずか2.4%にとどまっている。

通院を必要とする病気や疾病をお持ちの人が6割弱であった。

医療機関や福祉施設の利用状況（重複回答有）では、「病院」が31.8%、「医院・クリニック」が22.7%、合わせて54.5%の人が医療機関を利用している。一方、「何も利用していない」が40.0%あり、「介護サービスの利用」や「福祉施設の利用」は極わずかであった。

### (2) 「病気になった時、受診する医療機関」について

(問10、問11、問12、問13)

通院する医療機関が「決まっている」が73.7%あり、残りの約25%は「その時の症状や都合で決めている」と答えているように、7割強の人はすでに受診する医療機関（かかりつけ医）を決めている。

通院する医療機関では、「松原市内」が67.9%と最も多く、次いで「大阪市」14.9%、「堺市」8.6%、「羽曳野・藤井寺市」4.9%であり、大半が市内及び隣接市の医療

機関へ通院されている。

通院する医療機関の選択基準は、「家から近い」55.6%、「勤務先から近い」2.4%と利便性を優先する人が58.0%にのぼる。「評判を聞いて選ぶ」が24.9%であった。

専門的な検査や手術が必要な時の医療機関の選択では、複数回答であるが「専門の医療を行い、医療レベルが高い」と「かかりつけ医に相談、紹介してもらう」がほぼ同数で最も多かった。次いで「交通が便利」となった。いざという時に「かかりつけ医」の役割が大きいことが伺える。

補足になるが、国民健康保険（平成21年9月診療分）の主な疾病別受診状況調査では次のような結果となっている。

入院では、「松原市内」38.4%、「堺市」28.4%、「大阪市」15.2%、「羽曳野・藤井寺市」2.8%、「東大阪・八尾市」1.4%、「その他」13.7%。

外来では、「松原市内」74.0%、「大阪市」12.2%、「堺市」5.7%、「羽曳野・藤井寺市」3.6%、「東大阪・八尾市」0.9%、「その他」3.6%となっており、通院については、ほぼアンケート結果と同様の状況であった。

さらに、主要診断群（MDC）分類での受診状況は、次のようであった。

#### 入院

■MDC	01	神経系疾患（脳梗塞など）					%
	松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
	28.1	31.3	31.3	6.3	0.0	3.0	
■MDC	04	呼吸器系疾患（喘息など）					%
	松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
	50.0	25.0	0.0	0.0	12.5	12.5	
■MDC	05	循環器系疾患（高血圧性疾患など）					%
	松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
	61.0	11.1	11.1	5.6	5.6	5.6	
■MDC	06	消化器系疾患（胃潰瘍・肝炎など）					%
	松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
	60.0	20.0	12.0	4.0	0.0	4.0	
■MDC	10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患（糖尿病など）					%
	松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
	58.3	16.7	16.7	0.0	0.0	8.3	
■MDC	17	精神疾患（気分障害など）					%
	松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
	30.2	3.1	40.6	2.1	1.1	22.9	

入院について、「神経系疾患（脳梗塞やてんかんなど）」と「精神疾患」が、他市医療機関への依存度が極めて高い状況であった。

外 来
-----

■MDC 01	神経系疾患（脳梗塞など）					%
松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
56.4	23.9	5.6	4.7	1.9	7.5	
■MDC 04	呼吸器系疾患（喘息など）					%
松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
75.2	8.9	5.3	5.3	0.0	5.3	
■MDC 05	循環器系疾患（高血圧性疾患など）					%
松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
84.8	6.8	3.2	2.6	0.9	1.7	
■MDC 06	消化器系疾患（胃潰瘍・肝炎など）					%
松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
63.6	20.6	6.2	5.6	0.4	3.6	
■MDC 10	内分泌・栄養・代謝に関する疾患（糖尿病など）					%
松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
78.0	10.3	4.0	3.3	0.9	3.5	
■MDC 11	腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患（前立腺肥大など）					%
松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
66.5	17.0	7.1	4.7	0.0	4.7	
■MDC 17	精神疾患（気分障害など）					%
松原市内	大阪市	堺市	羽曳野・藤井寺市	東大阪・八尾市	その他	
56.5	15.9	15.5	3.7	1.8	6.6	

外来では、半数以上が市内で対応できているが、やはり「神経系疾患」、「精神疾患」に続いて「消化器系疾患」、「腎・尿路系疾患」で他市医療機関への依存度が高かった。

### （3）「市内の医療提供、体制」について

（問 14、問 15、問 16、問 17、問 18、問 19、問 20）

松原市が実施する「がん検診」は、4人のうち3人が受診したことがないという結果であった。受診した4分の1の人の検診内容は、「子宮がん」・「大腸がん」ともに24.7%、「乳がん」18.3%、「胃がん」17.2%、「肺がん」11.8%であった。

一方、圧倒的多くの「受診したことがない」人の理由は、「忙しくて時間がない」21.8%、「がん検診があるのを知らない」20.6%、「受診費用がかかりそうだから」15.9%が上位を占めた。

次に「がん検診」以外の検診事業について尋ねたところ、これも7割を超える人

が「受診したことがない」との回答であった。「受診したことがある」25.9%の人の検診内容は、「予防接種事業」65.6%、「母子保健事業」11.5%、「人間・脳ドック事業」9.8%となっている。

「受診したことがない」人の理由は、「いろんな事業があるのを知らない」32.7%と最も多く、次いで「忙しくて時間がない」18.7%であった。

松原市内の医療提供については、「概ね現状で良い」と答えた方が45.9%、「まだまだ不十分である」と答えた方が45.4%で、評価が半々に分かれた。

今後、市内の医療を充実させる上で重視する点は、複数回答であるが「初期救急医療」と「二次救急医療」の充実がほぼ同数で、圧倒的に多かった。次いで「小児医療（小児救急含む）」と「在宅医療」の充実であった。

今後、市内の医療を充実させる上で重視する体制整備は、複数回答であるが「医療機関の間での連携の充実」が最も多く、次いで「病院から福祉・介護への切れ目ないサービスの連携の充実」、「医療スタッフと患者・市民との信頼関係の構築」、「相談窓口の充実」がほぼ同数であった。医療・福祉施設等のスムーズな連携の充実、相談窓口の充実を図る体制整備が求められる。

医療機関や福祉施設を利用して「困ったこと」、「こうしてほしい」と思ったことでは、「夜間や休日診療を松原市の病院で連携しあって年間を通して受診できるようにしてほしい」など救急医療の充実を願う意見や「診察や会計、薬処方の待ち時間が長かつらい。何とか工夫して改善してほしい」といった意見が数多く寄せられた。また、「足が不便なので交通機関（バス）を充実してほしい」とか「各福祉施設の長所短所のわかるパンフレットがあればいい」など積極的な提案もあった。

地域医療の更なる充実については、「市民病院の廃院は残念だ。公的な総合病院の設立」を願う意見と「安心できるよう土・日、夜間の救急医療の充実」を求める意見が多く見られた。その他、「高齢者が気軽に相談できる機会を設けてほしい」、「疾病予防の講座を開いてほしい」、「夜間にも検診の機会がほしい」、「医療・福祉施設への物的、技術的支援」、「情報提供の工夫」など、行政に対する期待の意見もあった。

#### **(4) 集約の結果について**

今回の調査では、調査票の回収率は41.0%と他の調査より若干低かった。実施時期が年末という繁忙期であったこと。設問内容が若干難しい面があったこと。意見を求めた項目や自由記載欄がいくつかあり、回答に相当の時間を要したことが一因と思われる。

しかしながら、「医療機関や福祉・介護施設等の利用」が約6割あったことや、自由記載欄に感想や意見が多岐にわたり記述されていたこと等、地域医療（市内の



医療)について高い関心をもたれていることが窺えた。

特に、市内の医療提供についての現状評価は、「概ね良し」と「まだまだ不十分」の半々に分かれたが、安心して暮らせる街づくりを進めるために、「初期・二次救急医療」の充実、「小児医療（小児救急含む）」や「在宅医療」の充実が望まれている。

一方、「がん検診」を初めとした検診事業については、「いろんな検診事業があるの知らない」、「忙しい」、「費用がかかる」等を理由に、70%～75%の人が「受診したことがない」と回答しており、検診率向上に向けた課題が提起された。

また、アンケート全体を通じて、いくつかではあるが「情報提供の工夫」や「疾病予防講座の開設」、「IT化での地域連携、情報の共有」など、行政に対する注文や提案があった。地域医療の向上・充実を進めるには行政がいかなる機能（情報提供、連絡調整、推進など）を有効に稼働させれば市民の「安心・安全」が担保できるのか。こうした問いかけに対する解明が求められるところである。

確かに「公的な総合病院」を望む声はあるが、これからの医療は、一つの医療機関で多様な機能を担う「施設完結型」ではなく、地域の医療機関全体で機能を分担しあう「地域完結型」医療が求められている。

さらに、地域医療の充実には保健・医療・福祉の連携が求められる。その連携をどう作り上げていくか。個々の医療機関や福祉施設等との連携はあったとしても、市全体としてのシステム化が課題である。

今後とも、市民や関係機関の理解と協力を得ながら、行政も含めたそれぞれの機能と役割を明確にした地域医療再生への挑戦が求められる。

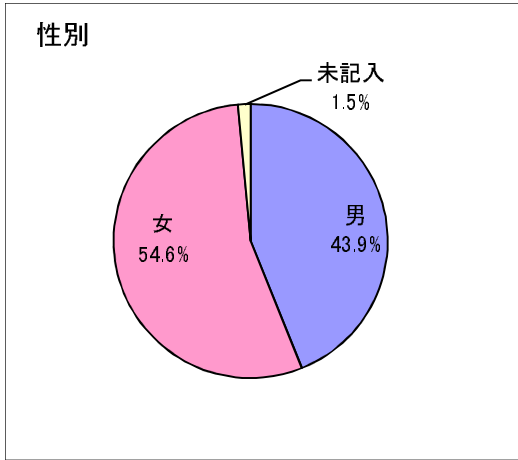
3. 集計結果  
(1)項目集計結果

資料1

「あなたご自身」についてお聞きします

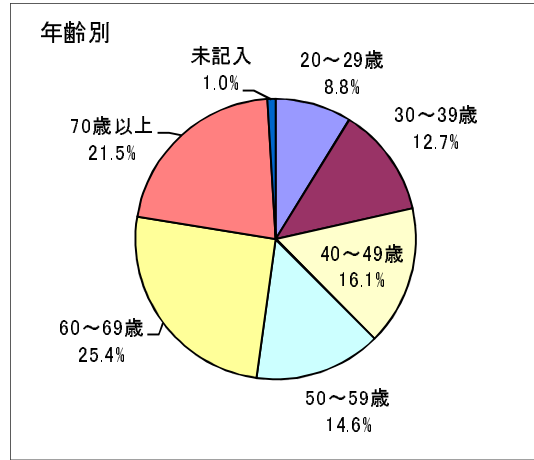
問1 あなたの性別は

回答比率では「男」43.9%、「女」54.6%と女性が男性よりも10.7%上回った。



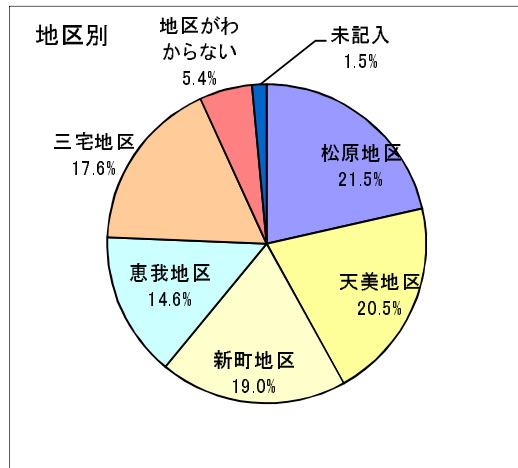
問2 あなたの年齢は(平成21年12月1日現在)

「60歳以上」が46.9%と約半数を占め、「50歳未満」では37.6%と4割弱にとどまっている。



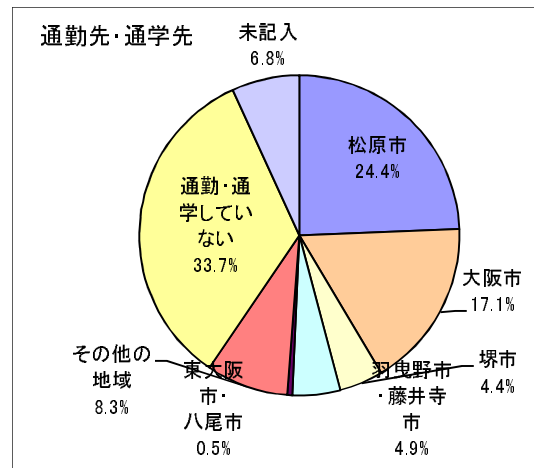
問3 あなたのお住まいの地域はどちらですか

「松原・天美・新町地区」が約20%、「三宅地区」は17.6%、「恵我地区」14.6%であり、大きな偏りはなかった。



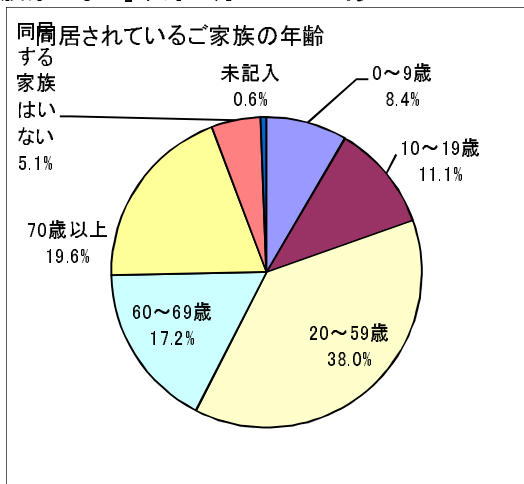
問4 あなたの勤務先または通学先はどちらですか

「松原市」が24.4%、次いで「大阪市」17.1%。高齢者が多いこともあり、「通勤通学はしていない」が33.7%と最も多かった。



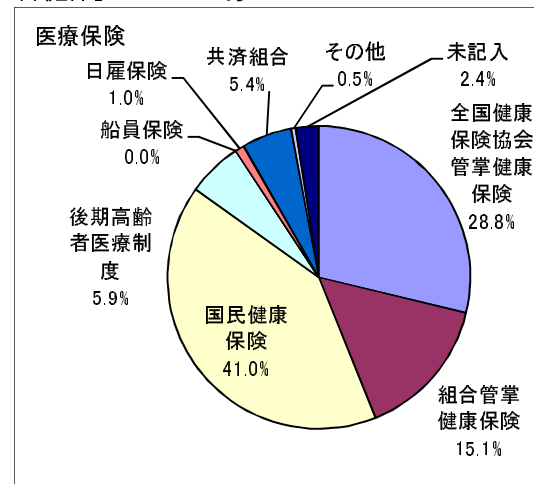
問5 同居されているご家族の年齢は(複数回答有)

「20~59歳」が38%と最も多く、次いで「70歳以上」が19.6%、「60~69歳」が17.2%となっている。「同居家族はいない」単身の方が5.1%であった



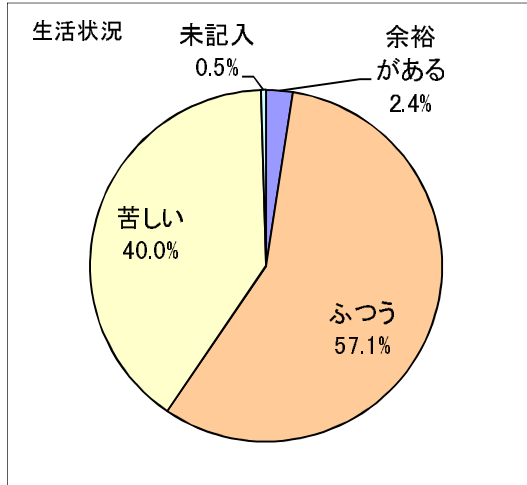
問6 あなたはどの医療保険に加入されていますか

「国民健康保険」が41%と「後期高齢者医療制度」が5.9%で約半数を占める。「協会けんぽ」28.8%、「組合健保」が15.1%であった



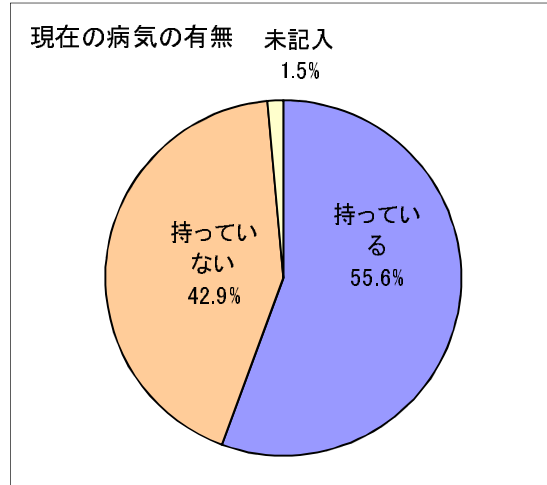
**問7 あなたの生活状況はどうか**

「ふつう」57.1%、「苦しい」40%、「余裕がある」とした方は2.4%にとどまっている。



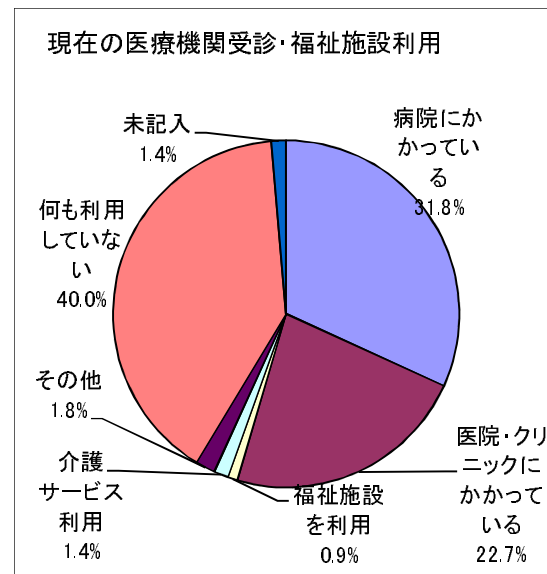
**問8 現在医者にみてもらう病気や疾病をお持ちですか**

「持っている」55.6%、「持っていない」42.9%。約6割の方が通院を必要としている。



**問9 現在医療機関を受診、または福祉施設などをご利用されていますか(複数回答有)**

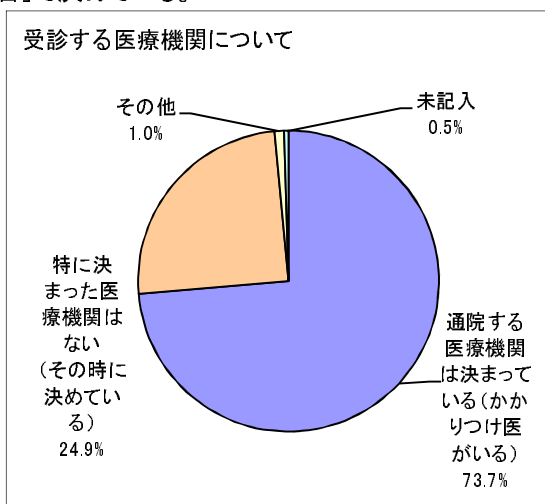
「病院にかかっている」が31.8%、「医院・クリニックにかかっている」が22.7%、合わせて54.5%が医療機関を利用している。「何も利用していない」が40%、「福祉施設を利用」が0.9%、「介護サービス利用」が1.4%であった。



**「受診する医療機関」についてお聞きします**

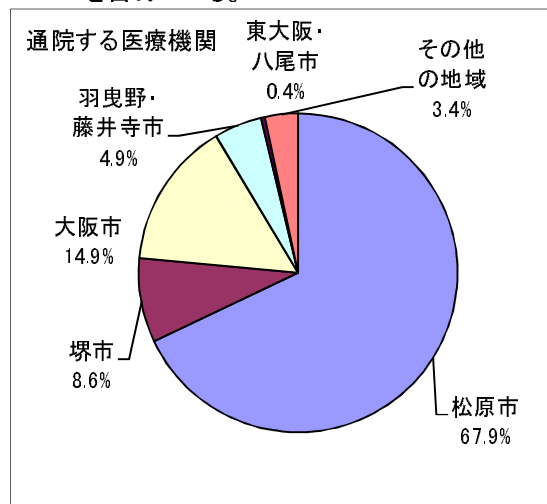
**問10 あなたやご家族が通院される時、決まった医療機関がありますか。**

「決まっている」73.7%と約3/4の人が、かかりつけ医をもっている。約1/4の人が「その時の症状や都合」で決めている。



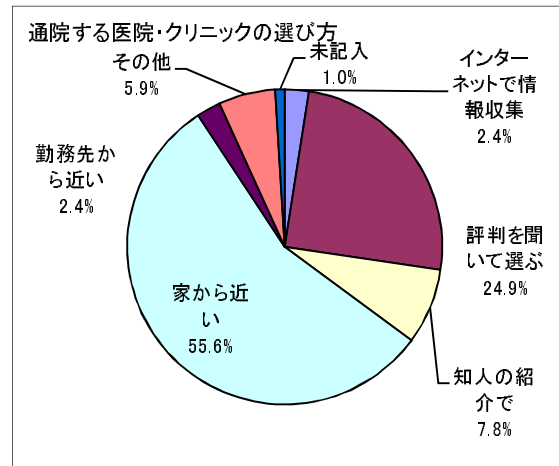
**問11 あなたやご家族が通院される医療機関はどこにありますか。(2つまで)**

「松原市」67.9%、「大阪市」14.9%、「堺市」8.6%、「羽曳野・藤井寺市」4.9%と市内および近隣市で96.3%を占めている。



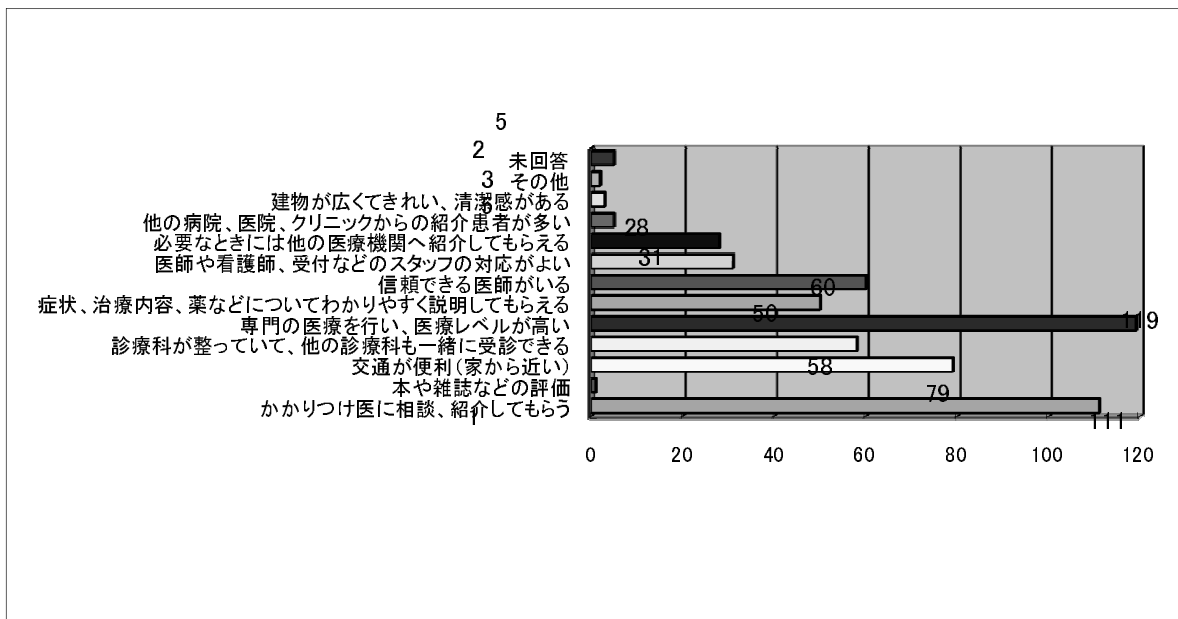
**問12 通院する医院・クリニックを選ぶ時  
どうしていますか**

「家が近い」55.6%、「評判を聞いて選ぶ」24.9%、  
家もしくは勤務先に近い、便利な通院先が約60%と  
なった。



**問13 あなたやご家族が入院して検査や手術が必要なとき、あるいは「がん検診」など  
専門的な診療が必要になり医療機関を選ぶ時、何を最も重視されますか(3つまで)**

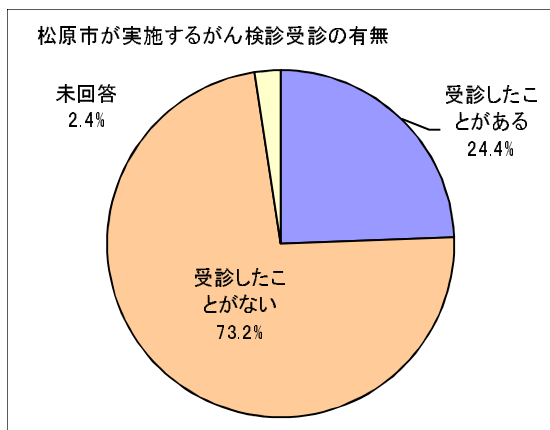
「専門の医療を行い、医療レベルが高い」が最も多く、次いで「かかりつけ医に相談、紹介してもらう」「交通が  
便利」の順となった。「かかりつけ医」の役割が大きいことが伺える



**松原市内の医療提供、体制についてお聞きします**

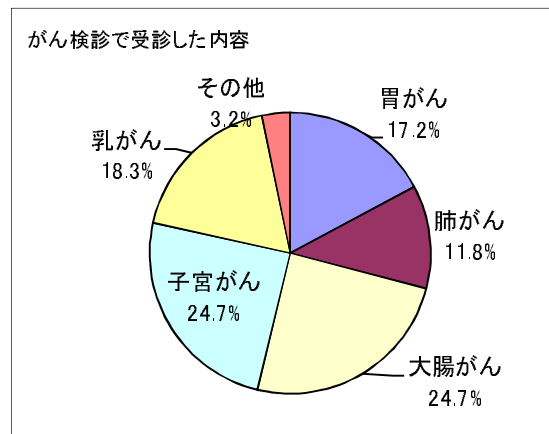
**問14 あなたは松原市が実施する「がん検診」  
を昨年または今年うけられましたか**

「受診したことがない」73.2%、「受診したことが  
ある」24.4%。約3/4の人が受診していない。



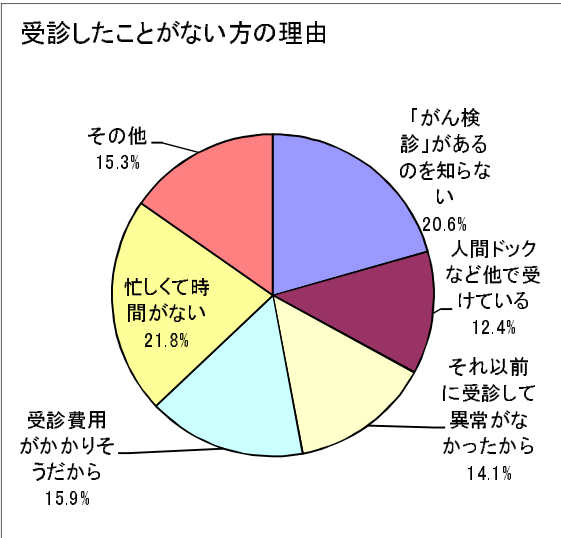
**問14-1 受診したことがある方にお聞きします  
それはどの検診ですか(複数回答有)**

「大腸がん」と「子宮がん」が24.7%、次いで「乳がん」が18.3%、胃がん17.2%、肺がん11.8%となった。



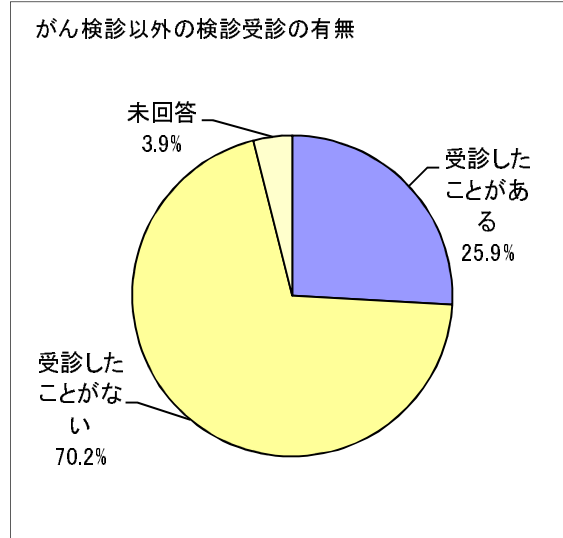
**問14-2 受診したことがない方にお聞きします  
その理由はなんですか(重複回答有)**

「忙しくて時間がない」21.8%、「がん検診があるの  
を知らない」20.6%、「受診費用がかかりそうだから」  
15.9%となった。検診の必要性などPRの工夫が課  
題となった。



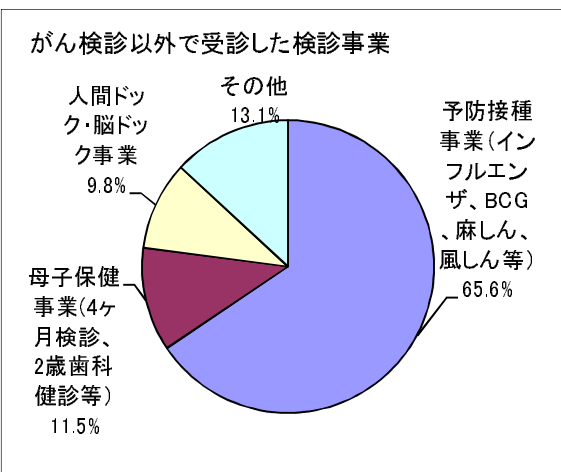
**問15 「がん検診」以外で松原市が実施する  
検診事業を昨年または今年受けられまし  
たか**

「受診したことがない」70.2%、「受診したことがあ  
る」25.9%。「がん検診」同様、受診率が低かった。



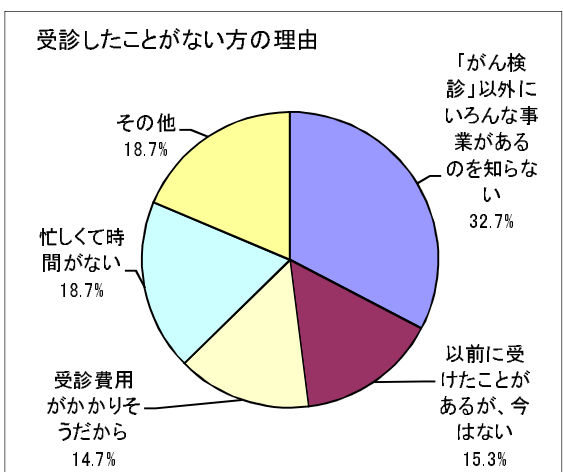
**問15-1 受診したことがある方にお聞きします  
それはどの検診ですか(重複回答有)**

「予防接種事業」65.6%、「母子保健事業」11.5%、  
「人間・脳ドック事業」9.8%とインフルエンザをはじめとし  
た予防接種事業が大半であった。



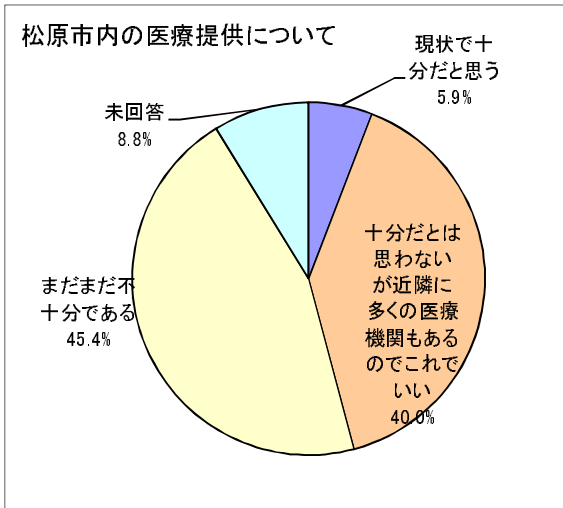
**問15-2 受診したことがない方にお聞きします  
その理由はなんですか(重複回答有)**

「がん検診以外にいろんな事業があるの  
を知らない」32.7%、「受診費用がかかりそうだから」14.7%、  
「忙しくて時間がない」18.7%とまだまだ事業が知ら  
れていない結果となった。



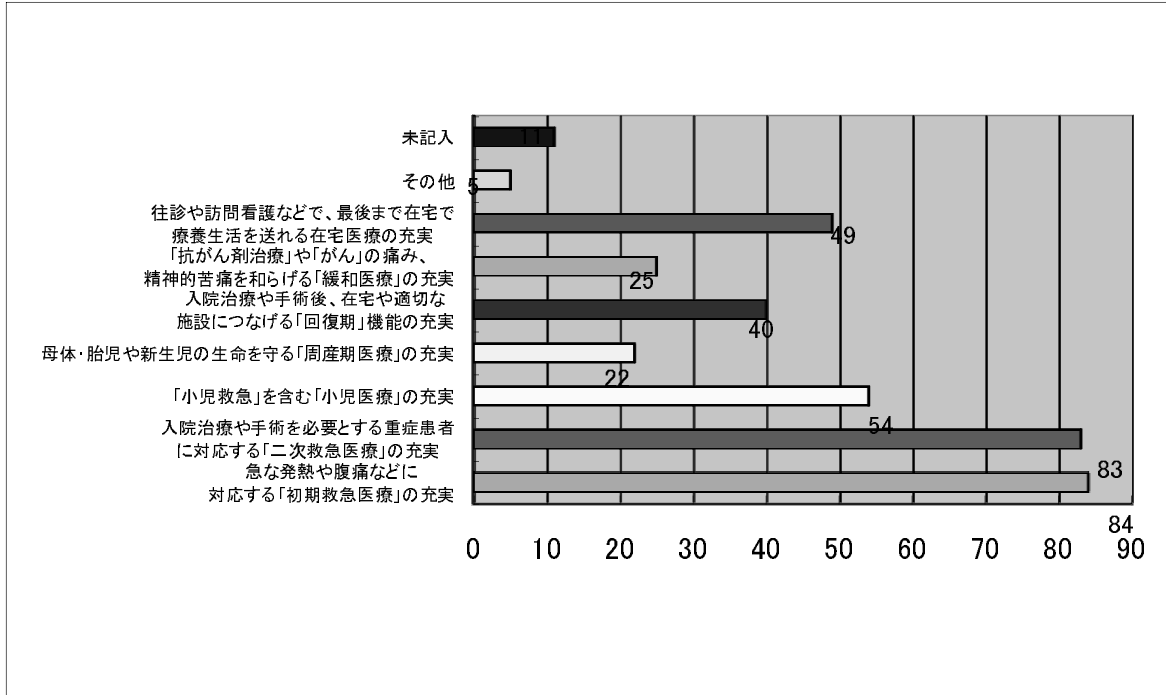
**問16 あなたは松原市内の医療提供について  
どのようにお考えですか**

「十分だとは思わないが近隣に多くの医療機関も  
あるのでこれでいい」40%、「現状で十分だと思う」  
5.9%。合わせて45.9%。「まだまだ不十分である」  
45.4%とほぼ半々に意見が分かれた。



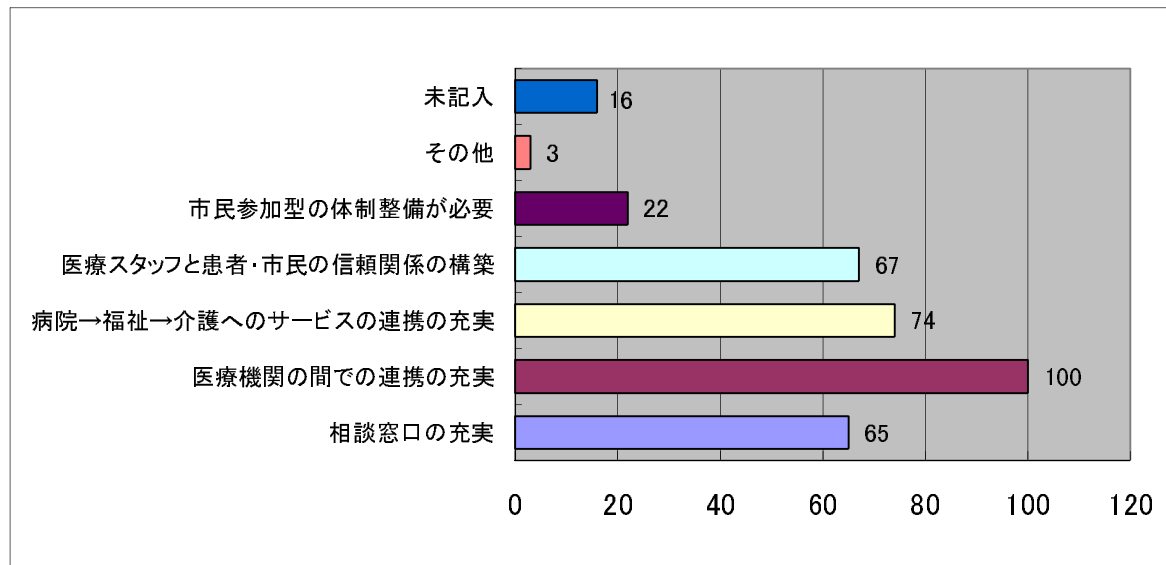
**問17 今後、市内の医療を充実させる上で、あなたが最も重視する点は(2つまで)**

「初期救急医療の充実」と「二次救急医療の充実」が最も多く、次いで「小児救急を含む医療の充実」「在宅医療の充実」が多かった。



**問18 あなたは、市内の医療を充実させる上で、最も重視する体制整備はどれですか。(2つまで)**

「医療機関の間での連携の充実」が最も多く、次いで「病院から福祉・介護への切れ目ないサービスの連携の充実」で、医療・福祉施設等のスムーズな連携の充実と相談窓口の充実を図る体制整備が求められている。



## 問6 あなたはどの医療保険に加入されていますか

生活保護	
会社の保険	

## 問12 通院する医院・クリニックを選ぶ時どうしていますか

夜の診療がある	
市民病院にいていた	
専門医、偶然	
先生の紹介、処方される薬が合うか	

## 問13 あなたやご家族が入院して検査や手術が必要なとき、あるいは「がん検診」など専門的な診療が必要になり医療機関を選ぶ時、何を最も重視されますか(3つまで)

死を前にした人を思いやる心	
---------------	--

## 問14-2 松原市実施の「がん検診」を受診しない理由

気がすすまない	
案内がきたのでこれから受けようと思う	
受診の仕方がわからない	
めんどくさい	
他の病院で通院していたから	
職場での健康診断	
なんとなく	
予約が面倒	
これから受ける予定	
健保で年1回受けている	
乳がんで経過検診しているので	
協会健保で基本検診をうけている	
持病があるので定期健診を受けている	
なにか言われると怖い	
胸や下半身をみせるのに抵抗がある	
かかりつけの病院で	
以前乳がんになりその後定期的に受けていた	
職場での検診がある	
特に理由はなし	2
昔は受けていたが足が悪くなって行けなくなった	
定期受診しているので必要な時はその都度検診	
まだ必要でない	
予約がいっぱいと言われた	

## 問15-1 松原市の実施する「がん検診」以外の検診事業をうけた内容

特定健診	3
喉甲状腺の検診	
メタボ健診	
市の健康診断	
歯の健診	

## 問15-2 松原市の実施する「がん検診」以外の検診事業を受けない理由

関心がない	
人間ドックで受診	3

## (2)自由意見の集約

## 資料2

回答数

	回答数
なんとなく	
私にあった病院がない	
協会健保で基本健診を受けている	
持病があるので定期健診を受けている	
勤務先での検診	3
病院がきれい	
今必要を感じない	2
かかりつけ医にみてもらっている	2
土日にやっていないから	
市民病院が潰れそのようなことをやっているのはいもよらなかった	

## 問16 松原市の医療提供がまだまだ不十分である理由

市として信頼できる市民病院も保健所もないのは正常な状態とは思えない。	
夜間に子供も見てもらえる病院が松原にない。診療時間内に行こうと思って開業医に電話したら断られた。	
交通の便のいい所に病院がない	
全科揃った病院があってほしい	
子供の救急医療を充実させて欲しい。	
医院と病院とでは診療に違いがある	
ゆとりのある医療が受けられる市民病院は必要	
救急体制が不十分、受け入れが悪い	
市民病院がなくなり不便で不安	
周産期医療の充実を望む	
体が悪くても入院できる病院がないので不安。早く死にたい	
市民病院が無くなり他の総合病院が混んでいる。時間外診療の受入のある病院があるのか不安	
徳州会病院を利用するがいつも混み待ち時間が長い	
予約しても待たされる時間が長い	
市民病院を作る事	3
がん検診で以前はバス等での巡回があった。1つ受診すれば次へつながるという手順があれば助かる	
市民病院が閉鎖され入院できる病院が少ないことが不安	
日祝でも診察してもらえる医療機関が欲しい	
開業医→中核病院→高度医療病院へと受診者の流れを作るべき	
小児科が救急で見てもらえない、近くにない	
待ち時間が長い、市民病院を作ってほしい	
市民病院がないこと	6
病院が少ない。市民病院も閉鎖されどこの病院に行けばいいか悩む	
市民病院がなくなったのが大きい	
紹介状なしで他市病院へ行けば初診料が高い。市民病院の設立が必要	
検査機器が充実していて家から近い総合病院がほしい	
市民病院がなくなった。信頼できる医師が少ない	
市民病院閉鎖は残念。総合病院は診察も会計も待ち時間が長い。	
内科、外科、小児科の夜間救急がない	
市民病院が近かったのに閉鎖されとても悲しい	
緊急時や夜間など市民病院が閉鎖され不便。小児科の救急をしている所が少ない	
救急の時どこへ行けばいいかわからない。子供が他市まで行かなくてはならないのはおかしい。	
国公立の大きな病院がないから	
もし事故等で救急車に乗ったらたらい回しにされるのでは、という不安がある	
市民病院が閉鎖され近くの医院を受診しているが費用が高くなった。診療科毎に医院を回るのは大変	
身近に小児科、産婦人科の医院やクリニックが少ない	
総合病院があればよい	
24時間対応の医療機関が欲しい。保健所もあれば良い(旧市民病院跡地に)	
インフルエンザの予防接種は幼児、高齢者を無料化。一般人は料金の一律化。	
眼科が少ない	



**(2)自由意見の集約**

資料2

回答数

市民病院がなくなり不安。他市へ行こうか悩んでいる	
近くで大きい病院に行きたい	
緊急の場合が心配	
市民病院がなくなり、それに代わる全科診療のある病院があればよい	
24時間対応の医療機関が欲しい。市民病院はそうだったので助かった。	
入院設備と様々な科が揃っている病院がほしい。	
小児科の夜間救急や休日診療をやっていないので不安。休日診療をしている所に患者が集中し、待ち時間の間に悪化してしまった。	
松原市には大きな病院や良い医者がない。医療機器も貧弱。色々な科がある設備の整った病院が欲しい	
市民病院より他の医療機関の方が費用が高い。偏っている部分が多い	
松原に来てまだ2年位なので病院の事を詳しく把握していない	
総合病院がなく不安。救急体制が整っていない	
小児救急をもっとやってほしい。	
がん検診を1年に1回にしてほしい。	
何を提供されているのか情報を把握しにくい。	
小児科、耳鼻科の緊急対応を整備してほしい。	
市民病院の復活、総合病院を増やす、夜間・休日診療の充実	
小児医療・高齢者医療	
救急の場合どこの医療機関が受け付けてくれるかわからない	
個人病院が増え、病状や時間帯によって色々な所に行かなければならず、家から遠いと不便	
新型インフルなど乳幼児は集団接種にして欲しい。電話してもどこもいっぱいと言われてどうしていいかわからない	
無料の検診等を実施してほしい。歯科、婦人科、人間ドッグなど。ホームページで知らせていただけるとか。	

**問17 市内の医療を充実させる為に重要視する点**

地域完結型の医療希望	
市民病院か総合病院の設立	
待ち時間をもう少し短く	
長期入院ができず、2、3ヶ月で移動しなければならず、先生も代わるので不安	
その時になった場合きちんと対応してもらえる場所があることが願いです	
設問全部あてはまる	
設問が3つあてはまる(「二次救急医療充実」「小児医療」「周産期医療」)	

**問18 市内の医療を充実させる為に重要視する体制整備**

かかりつけ医～病院～かかりつけ医の連携。	
総合病院同士の連携と情報の共有(パソコンによるネットワークでカルテを見れるなど)	
医師の説明不足。予防接種や産科の予約がとりにくい	
待ち時間が長い。待合も全科同じ所にあるので小さな子供を連れてると病気がうつるのでは、と心配。	
総合病院の開設	

**問19 医療機関や福祉施設を利用して困ったこと、こうしてほしいこと**

夜間や休日診療を松原市の病院で連携しあって年間を通して受診できるようにしてほしい	
救急の受け入れの充実、救急診察の待ち時間が長い。	
市民病院廃止に対して、入院が無理なら外来だけでも残して欲しかった	
高齢化社会に向かう割りに老人介護施設が少ない	
徳州会の医師、看護師の対応が人によって悪い	
救急医療の充実(他市町村との連携・軽症患者の排除)	
救急に行った場合の医者の対応のわるさに嫌な思いをした。	
予約していても待ち時間が長く、診療時間が短い	

## (2)自由意見の集約

## 資料2

回答数

	回答数
待ち時間が長いのでどの病院でも携帯電話での予約ができるようになってほしい。	
市民病院の廃院は市民にとって大きなダメージだと思う。	
狭い病室の解消	
夜間の診療希望、歯医者予約がとりにくい	
診察時、医師が患者ではなくパソコンに気をとられている	
病院内の医師間のコミュニケーション	
20~30代の社会人は広報を見る機会がないと思うのでメール配信などをしてほしい。	
中学生は小児科でないと診てもらえないので困る	
待ち時間が長く診察時間は短い	
待ち時間が長い	9
足が不便なので交通機関(バス)を充実させて欲しい。	
マニュアル通りではなく、利用者にわかる言葉で話して欲しい。	
検診情報など全市民に行き渡る仕組み作りが必要	
市内に休日診療所を作ってほしい	
5年前に市民病院で胃の検査をしたが異常なし、他の病院へ行くと胃がんと診断された	
阪南中央病院のような総合病院では待ち時間が長く、仕事を持っている身としてはつい薬局の薬にたよってしまう。	
病院の待ち時間が長い。インフルエンザの予防接種の予約がとれなかった。	
福祉施設等の内容がよくわからないので各施設の長所短所のわかるパンフレットがあればよい	
受付後帰宅し病院から連絡してもらい、すぐに受診できるシステムがあると嬉しい	
何曜日は社会人、学生を優先に診るなどの時間割があればよいと思う	
羽曳野病院に入院した家族が重症にもかかわらずトイレなどの手助けを何もしてもらえなかった。	
小児科の夜間みの診療があってもいいと思う。	
診察してもらえる時間が事前に分かれば忙しい時に行って困る事が軽減できるのでは。	
明治橋病院は待合場所が狭い	
紹介状がないと高くなるが会計時まで言ってくれない。受付時に一言言って欲しい	
地域医療の課題が、行政側からわかりやすく提示され、市民に身近なものになれば良いと思う	
薬処方の待ち時間の長さ。もっと短縮して欲しい	
小児科、産婦人科の減少。	
総合病院も携帯(ネット)予約ができれば待ち時間が減って良い	
働いていると診療時間に間に合わない。日曜の開院(時間外の診療ではない)や時間の延長があればよい。	
利用したいと思ったときにわかりやすい病院や福祉施設の情報提供をして欲しい	
診察や会計の待ち時間が長い	
待ち時間が長い(長く感じさせない工夫)心ない言動	
行く病院によって説明が違う。どちらが正しいのか判断に困る	
複数の科をもつ病院は混むので先生も増やして欲しい。(内科と小児科など)	
市民病院を復活してほしい	
医療機関が適切に処理されている	
歯科で納得のいかない請求点数がある。薬は院内でだしてほしい。	
以前テレビで医師や看護師の資格を持たない人が患者に声かけするサービスを見かけた。患者の心を和ませ医師や看護師の負担を減らす材料になるのでは。	
待つ時間が長い。病気の説明をわかりやすく丁寧に教えてほしい。	
子供がインフルエンザにかかった時休日診療している病院が混雑していて受付から薬をもらうまでに8時間かかった	

(2)自由意見の集約

資料2

回答数

色々な科があり入院もできる病院を作って欲しい。おばあさんが徳州会のデイサービスへ行っていたが内容が悪い。もっと良いスタッフを揃えて欲しい。1年行ったが嫌だと行ってやめた	
市民病院が閉鎖され医院に通院しているが急な体調の変化があっても診療時間外で困った。明治橋病院で受診したが既往症や薬の名前等すべて説明しなければならず大変だった。大きな病院はカルテ一つで全て把握されてるのでどの科を受診しても安心できる	
検査などをする時、平日予約だけじゃなくて土曜日もできるようにしてほしい。	
かかりつけ医がない者がいざ病院にかかった時の対応が悪い。インフルの予防接種でかなり断られた。同じように保険料を払っているのに払い損だと思った。	
市立病院が必要。何かあった時、先が不安	
①小児の救急先が1日中ない。②福祉施設の広報が少なくホームページも粗末。③生～死までどんな時にどこへ相談し、どこに行けばいいのかマニュアル作り。④福祉を受けている人は施設もすぐ利用できるが一般の人にも利用の拡大を。	
入浴時足元に自信がなくもしもの時の不安からなかなか一人で入浴することができない	
市民病院は会計や受付の人数が多すぎた。働く人数の多さ＝サービスになっていない。高熱で急な受診の時も予約優先なのでその時の症状で臨機応変な対応をしてほしい。予約なしの初診の待ち時間が異常に長い	
老介護の費用も含め負担の少ない医療機関、施設の充実	
3年ほど前に車とぶつかって顔をけがして松原市内の病院で診察を受けたとき、けがの原因を聞かれ車のことを話したのですが「あ〜…」とだけで終わってしまいました。当時、私は車の免許もなく警察への届出が必要だったということも何も知識がなかったのですが、病院からのアドバイスもなかったことには、今思い出しても残念だったなあと思います。	

問20 地域医療をさらに充実させるための自由な意見

市が医療、福祉機関へのバックアップ(金銭的や物質的その他各機関の連携の為の技術的なもの 等	
土日祝の医療を充実させてほしい。	
小児医療に力を入れてほしい。	
土曜日も開業希望	
民間病院ではできない公的な役割で考えて欲しい(財政の問題だけで廃止しないでほしい)	
少子高齢化により国保の財政状況は今後厳しくなるとされる。利用と負担のあり方について市民のコンセンサス形成が大事である	
診る側も診られる側も理解力を持っていてほしい。病気を治すのに何が一番適切なのかお互い考えないといけない。	
医院やクリニックのレベルの向上	
市民が市民広報をしっかり読むこと	
今の制度で特に不便は感じない	
市民病院いがいの病院は金儲けを主にうごいているのでは？余分な薬、治療に不安を抱く。	
小児救急の充実	
市民として安心できる制度を希望	
医療機器及びスタッフの充実した総合病院の設立	
保険料が高すぎる	
市民病院の存在価値について、隣接の市を見習って考えてほしい	
セカンドオピニオンに関して医師によって差がある。ジェネリック医薬品についても医師から言ってくれると話しやすいと思う。	
市民病院では色々な検査をしていたが廃止後、個人医院では問診と薬のみで不安	
医師が少ない。医師に責任を負わせすぎ、何かあればすぐに訴えられる。医師をもっと信頼すべき	
松原市営の総合病院の設立	

## (2)自由意見の集約

## 資料2

回答数

	回答数
高齢者が気軽に相談できるように市民と行政がコミュニケーションをはかれる催しなどを実施する機会を設けお互いの信頼関係を構築する必要がある	
市民の税金を無駄遣いせず、市民のために使ってください	
医療の向上と患者の理解をしてもらいたい	
診療機関の順番を作る。小→中→大(病院の規模)	
市民病院が無くなり近い場所に病院がないので困っている	
多額の市民税を納付しています。もっと有効に使って欲しい。市民病院を作ってほしい。	
検査等で他市に行く事がある。松原にもその機械や検査器具のある病院が欲しい。市民病院の為に税金を使っても市民は文句言わない	
駅近くか、市民病院跡地に色々な科の集合してるクリニック村みたいなのをを作ってほしい。	
夜間にも検診の機会が欲しい。検診は特に症状がある人が行く訳ではないので多くの人ができる体制が必要	
薬の処方のみのは60日分くらいもらえると待合もすくのでは	
財政が厳しくなったので仕方がないが市民病院閉鎖は残念	
医療費が高い。年々厳しくなり今後が不安	
子供の急な発熱時など遠方にしか病院がない。近くに小児救急があればいい	
基本内科検診を充実させて欲しい。以前住んでいた市川市では毎年自分の誕生日に受診票(有効期限半年)が送付され市内のどこかの内科でも受診できた。大腸、前立腺がん等も希望すればキットをもらい2本採れたらいつでも提出可能だった。乳がんも指定された医院でいつでも受診できた。胃がん、肺がん等レントゲン車が来るものは日時は指定されたが選択できる日や場所も多く、受ける側の都合が考慮され助かった。	
国公立の大きな病院が欲しい	
医師や看護師の待遇(長時間勤務等)の問題の解決	
近くのクリニックを受診する	
医者の数(専門医)を増やして欲しい。	
市民病院の閉鎖が残念。市役所を新しくするよりも市民の為に病院を存続して欲しかった。	
重要、緊急なものにプライオリティを置いた医療体制を整備してもらいたい。	
小児科、産科を復活させてほしい	
80歳なので近くにいい病院がほしい。病院の送迎バスがほしい。	
市民病院を廃止したのは正しい判断だと思う	
不正請求をなくす。無駄な保険請求をなくす事で個々の負担が軽くなる。	
24時間医療体制です。	
救急時、医者が不在の理由で来院を拒否される事が多い。民間クリニック等の医師を派遣してもらえるシステムを考えて欲しい。	
往診してもらえる医療があったなら高齢者も安心して暮らせる。	
小児救急、夜間、休日診療を増やして欲しい	
市民が不安なく笑顔で安心して暮らせる医療や福祉を。	
松原市は子供や老人に不親切な嫌な町。市役所の人偉そうにしているし何を聞いても面倒くさそう。地域医療も本当に良くなるのか今後年老いていく私達は不安	
古い病院が多いので清潔感のある最新設備の整った病院が欲しい	
市民病院の再建	8
車がなくても通院できる範囲で色々な診療科があれば良いと思う	
澤井市長の、老朽化を理由にした市民病院の廃止には憤りを感じている。ベテラン市議の操り人形になってはダメです。	
医院やクリニックが増え安心できるようになっているとは思いますが、土日診療ができる医院があればよい。もしあれば市民の耳に入れば良い	
開業医ばかり優遇されている気がするが、過酷な勤務医にこそ優遇措置をとるべき。	

(2)自由意見の集約

資料2

回答数

市民病院は医療費が安かったが私立病院は色々な検査をして高くつく。公立病院を作ってください。	
子供が病気になった時に夜間救急がなくて困った。安心して暮らせるよう、子供の夜間救急を作ってほしい。	
安心・丁寧・親切・心配りを多とする医療、介護をより広く進化、充実を日々確実にしていって下さい。	
情報の提供において市民にもっと浸透できるよう、工夫してもらいたい。	
地域医療を充実させる公立病院を建設して下さい	
救急車が来ても止まったままで動かない。受け入れ先との連携の強化。医療費薬代が高くて行けない。生活保護者が受給者以外にも補助を。	
具合が悪くて受診しているのにすぐに診て貰えない、該当する科がないなどは問題外。受付や会計の人も丁寧な対応をすべき。市民の総合病院の充実。医師の技術の高さは長い目で見たら地域の発展につながると思われるのに、いかにも臨時職員というような医師ではなく適切な人材の医療を求める	
救急病院の充実	
疾病予防に重点を当てることで病院に雇う人を未然に防ぐ対策を松原市に求めます。松原市が疾病予防の講座などを開いてくれるとうれしいですね。	
松原市内の(松原市民病院、松原中央病院)などは高齢の患者さんばかりで病院自体も古く、汚くて二度と行かないとおもいました。待ち時間も長かった。個人クリニックも20年ぐらいまえからずっとあったりすると怖いし、子供のころの印象が悪かったのを思うと、行かなかったりします。新しめのクリニックが大阪市内のクリニックを探して行っています。近所に清潔でサービスも行き届く病院があればいいと思います(小さめの)	

## 資料3 「松原市地域医療の充実・向上」に向けて アンケート調査のご協力をお願い

松原市政が新たなスタートを切りました。「四つの市政運営基本方針」の一つである「安心・安全のまちづくり」では「誰もが健康でいきいきと暮らせるよう、がん検診事業やこれからの医療のあり方検討チームの新設など、予防・医療体制の充実を図る・・・」ことを市民の皆様方にお示ししました。11月2日には「松原市これからの地域医療のあり方検討委員会」を立ち上げていただき、様々な分野・角度から地域医療の課題についてご検討いただいております。

そこで、今後具体的に市内の医療の充実・向上を図るため、広く市民の皆様方からご意見をお聞きするためアンケート調査を行うことにいたしました。

このアンケート調査は、20歳以上の市民の中から無作為に選ばせていただいた500人の方を対象にご協力をお願いするものです。調査は無記名で回答していただき、調査結果は統計的に処理され、数値として表されますので、個人の回答内容や氏名が使われることはありません。

年の瀬、特にお忙しい中、お手数をおかけいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、ぜひご協力をお願いいたします。

平成21年12月

松原市長 澤井宏文

### 調査票の記入方法と回収方法について

- ◆ 調査票には、お名前をご記入いただく必要はありません。個人の秘密は守られます。
- ◆ 調査票は、必ず宛名の方ご自身がご記入ください（お身体の不自由な方などで、記入が困難な場合は、代理の方がご記入いただいても結構です）。
- ◆ ご記入には、ボールペン・黒色鉛筆などではっきりご記入ください。
- ◆ 回答は、あてはまる番号を選んで○で囲んでください。
- ◆ お答えが「その他」の場合、( ) の中にその内容を記入してください。
- ◆ 回答いただいた調査票は、12月15日までに同封の返信用封筒でご返送ください。尚、切手を貼る必要はありません。

☆ この調査についてのお問い合わせは、下記にお願いします。

松原市保健福祉部地域保健課  
TEL 334-1550  
(内線 2288)







問 13 あなたやご家族が入院して検査や手術が必要なとき、あるいは「がん診療」など専門的な診療が必要になり医療機関を選ぶ時、何を最も重視されますか。(〇は3つまで)

1. かかりつけ医に相談して、紹介してもらう
2. 本や雑誌などでの評価
3. 交通が便利 (例：家から近い。病院が駅から近い。駐車場が完備されている)
4. 診療科が整っていて、他の診療科も一緒に受診できる
5. 専門の医療を行い、医療レベルが高い (例：検査機器が充実、手術件数が多い)
6. 症状・治療内容・薬などについてわかりやすく説明してもらえる
7. 信頼できる医師がいる
8. 医師や看護師・受付などのスタッフの対応がよい
9. 必要なときには、他の医療機関へ紹介してもらえる
10. 他の病院・医院・クリニックからの紹介患者が多い
11. 建物が広くてきれい、清潔感がある
12. その他 (具体的にお書きください)

[ ]

**松原市内の医療提供、体制についてお聞きします。**

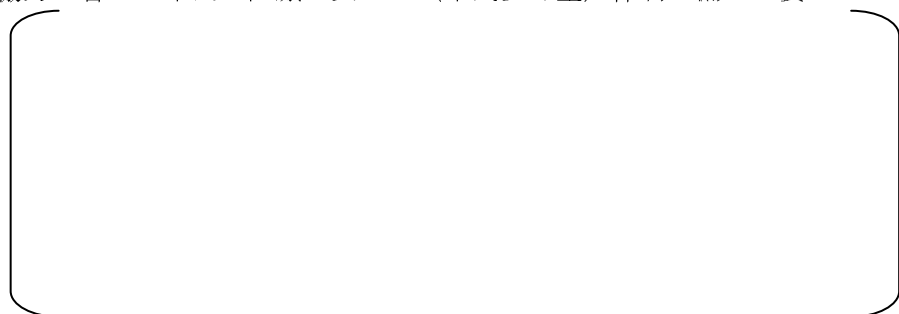
問 14 あなたは、松原市が実施する「がん検診」(昨年または今年)を受けられましたか。(当てはまるもの全てに〇をつけてください)

1. 受診したことがある → それは次のどの検診ですか。  
ア. 胃がん ウ. 大腸がん オ. 乳がん  
イ. 肺がん エ. 子宮がん カ. その他
2. 受診したことがない → その理由は何ですか。  
ア. 「がん検診」があるのを知らない  
イ. 人間ドックなど他で受けている  
ウ. それ以前に受診して異常がなかったから  
エ. 受診費用がかかりそうだから  
オ. 忙しくて時間がない  
カ. その他 ( )

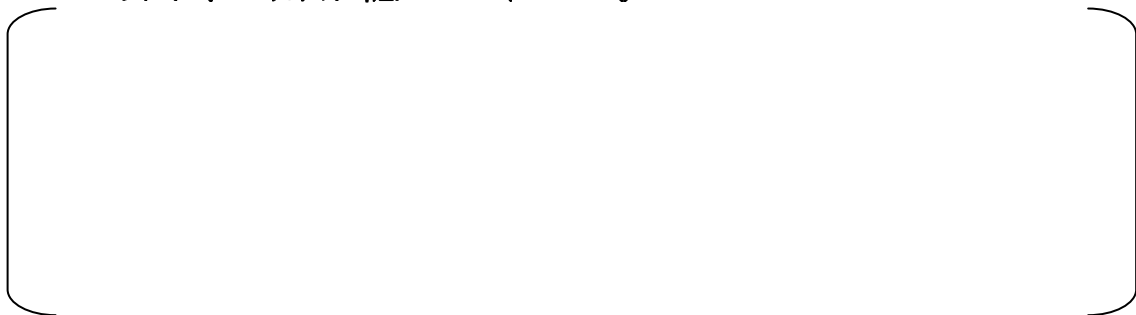


**問18** あなたは、市内の医療を充実させる上で、最も重視する体制整備は、次のどれですか。(〇は2つまで)

1. 健康相談、受診の必要性や受診先などについての相談窓口の充実
2. 病院から医院・クリニックへスムーズな紹介がなされるなど、医療機関のあいだでの連携の充実
3. 病院から福祉や介護へ切れめなくサービスが提供される連携の充実
4. 医療スタッフと患者・市民が理解・協力し合える信頼関係の構築
5. 市民が協力し合って市内の医療を支える（市民参加型）体制整備が必要
6. その他



**問19** あなたは、医療機関や福祉施設などを利用して「困ったこと」、あるいは「こうしてくれれば良いのに」と思ったことはありませんか。あれば、ご自由に記入してください。



**問20** 地域医療をさらに充実させるため、あなたの自由なご意見をお聞かせください。



☆ これで終わりです。ご協力ありがとうございました。

☆ この調査票は、12月15日までに同封の返信用封筒でご返送ください。切手は不要です。